

## 平成26年度 加茂市算数・数学部 活動報告

部長 森井 優子

- 1 研究主題 「学力向上に向けての取組」
- 2 研究の概要
  - (1) 全国学力・学習状況調査「算数B問題」について、小・中学校に分かれて持ち寄り研修を実施。
  - (2) テーマ 学習指導改善～Web配信集計システムの有効活用～  
講師：県立教育センター 副参事 泉田 雅彦様

### 3 研究の実際

- (1) 期日・会場 8月26日(火) 県立加茂高等学校
- (2) 全国学力・学習状況調査B問題を用いた持ち寄り研修より

- ①日常生活場面や他教科と関連付けて、規則性を見つける力や算数・数学のおもしろさに気づかせる授業づくりの工夫。
- ②B問題は「活用」問題。授業の中身も「習得」から「活用」させる場面が必要。
- ③問題を説明できる力を育てる授業づくりを工夫し、学び合いにより言語活動の充実に努める。などの話し合いが活発に行われた。



- (3) 指導：学習指導改善～Web配信集計システムの有効活用～  
学力向上の取組の中でどのように授業改善を進めるか？

授業改善とは・・・

単元の構想

時間をかける部分とかけない部分を明確にする。軽重を付け、「分かる授業」にすることが大切。

指導の改善

分かりやすい端的な説明・板書・発問・教材内容のツボ、つまずきやすい部分を意識して継続して取り組むことが、とても大切。

・・・というお話を頂いた。

その後、自校のデーターを使いWeb配信集計システムを活用して分析した。

解説・サポート問題は、実際の誤答を基に作られているので、つまずきやすいところをしっかりと押さえたり、まとめたりしてあるので大いに活用してほしい。



### 4 成果と課題

- B問題の中から「この問題をどう指導するか」という視点での持ち寄り研修と、Web問題の活用方法の2本立ての研修を実施。2学期から直ぐに授業改善に結びつく内容の研修になり、とても有意義だった。
- 各校で、Web配信集計システムの有効活用を全職員で共通理解し、2学期以降いかに活用し授業改善に生かしていけるかが課題である。